

価値創造ストーリー

なぜ、「食の持続性」を目指すのか？

「食の持続性」に対する危機感の高まり(リスク)

国内

- 担い手不足による酪農生産基盤の弱体化
- 少子高齢化、人口減に伴う食料需要の減少
- 輸入依存度の高い肥料・飼料・食料の供給構造の脆弱性顕在化
- 価値観の多様化による食への関心の変化

グローバル

- 世界人口増加に伴う食料需要の増加、たんぱく質供給の逼迫懸念
- 畜産業の環境負荷に向けられる厳しい視線
- 異常気象の頻発と食料供給の変動
- 上記の複合的な理由による食料価格の上昇

雪印メグミルクグループにとっての事業機会

- 持続的で安定的な牛乳・乳製品の供給
- 健康寿命延伸とQOL(Quality of Life)向上への要求の高まり
- 自然との共生、より環境負荷の低い食への関心の高まり
- グローバルの食料需要増加を捉えた海外ビジネスの展開
- フードテックなどの代替食品市場の拡大
- おいしさへの希求、本物志向の高まり

「食の持続性」に向けたアドバンテージ



「食の持続性」の実現に向けて、どう進むのか？

グループ中期経営計画2025の着実な推進

テーマ 強靱性の獲得

新たな100年に向けた成長の基盤をつくる期間



雪印メグミルクグループにとって、「食の持続性」の実現を目指すことは必然です。「価値創造ストーリー」セクションでは、そのための確かな道筋と現地、経営を持続させる仕組みを、わかりやすくひもときます。

重要課題(マテリアリティ)解決への着実な推進

領域	重要課題(マテリアリティ)	重点取組みテーマ
食	持続可能な食の提供	<ul style="list-style-type: none"> ● 魅力ある乳・乳製品の提供 ● 乳で培われた知見や機能を活かした新たな選択肢の提供 ● 安全で安心していただける商品・サービスの提供
酪農	食による健康への貢献	● 健康寿命延伸に向けた取組み
酪農	持続可能な酪農への貢献	● 酪農生産基盤強化への取組み推進
環境	環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"> ● 地球温暖化の防止 ● 持続可能な資源の利用 ● 循環型社会の形成
人と社会	多様性の推進と人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ● 人材の多様化と人材育成 ● ワーク・ライフ・バランスの実現と労働生産性の向上 ● 人権の尊重
人と社会	地域社会への貢献	● 地域社会とのパートナーシップ
コンプライアンス・企業倫理の徹底		



栄養を届ける
酪農乳業の基本的な価値



環境に配慮
事業継続の前提条件となる



人材を活かす
事業継続・発展の原動力となる

なぜ、雪印メグミルクグループにそれができるのか？

持続的な経営を可能とする「強み」「機能」「戦略」の存在

「食の持続性」を支える飽くなき研究開発

確かな信頼とブランド力

雪印メグミルク バリュー

- 主体性
- チャレンジ
- チームワーク

+スピード

「食の持続性」を支える確かな財務戦略

「食の持続性」の実現に向かうサステナビリティ経営

サステナビリティ経営を支えるガバナンス

「食の持続性」の実現

企業価値の継続的な向上

価値創造プロセス

雪印メグミルクグループは、ゆるぎない理念、受け継がれた「健土健民」の精神のもと、ミルクによって培われた幅広い知見や機能を使いビジネスを展開。多様な製品と多様な価値を生み出しています。



経営資本の充実に向けて

主な経営資本	特徴・優位性	課題	資本充実に向けて
1 消費者信頼度が高いブランド	<ul style="list-style-type: none"> バターやマーガリン類での圧倒的な国内市場シェア 「雪印コーヒー」「6Pチーズ」など支持される商品ブランドの数々 	<ul style="list-style-type: none"> コーポレートと商品の総合的な運動によるブランド価値向上 商品品質の維持・向上 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者に対する新たな価値の提供 (新商品の継続的な投入) 消費者に対する更なる認知度の向上 (PR戦略の拡充)
2 安定した原料調達ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> 生乳 <ul style="list-style-type: none"> 酪農生産者との密接な関係性 全国各地域の生産者団体ネットワーク 原材料 <ul style="list-style-type: none"> サプライヤーとの協力による戦略的調達 製造・流通・各種法令などに精通した人材 	<ul style="list-style-type: none"> 生乳 <ul style="list-style-type: none"> 酪農生産者の減少 生乳生産コストの高騰 原材料 <ul style="list-style-type: none"> 気候変動などによる調達リスク 専門性を備えた調達人材の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 生乳 <ul style="list-style-type: none"> 酪農経営改善に向けた情報の提供 課題解決に向けた研究会の開催 原材料 <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な調達体制の構築 国内外サプライヤーとの協力 実践と教育の機会創出
3 活躍する多様な人材	<ul style="list-style-type: none"> 「より良いものづくり」を追求する人材・組織風土 様々な現場で浸透している、共有する価値観としての「雪印メグミルクバリュー」 	<ul style="list-style-type: none"> 人材の多様化、人材育成 従業員エンゲージメントの向上 安定的な人材確保 	<ul style="list-style-type: none"> ワーク・ライフ・バランスの実現、女性活躍推進 キャリア開発・支援推進 人事制度の拡充、労働条件の向上 労働環境整備とヘルスケア (ハラスメントの撲滅、労働安全衛生教育、健康増進など)
4 多様なニーズに応える研究開発力	<ul style="list-style-type: none"> 3,000株超の乳酸菌ライブラリー 乳酸菌・乳素材の栄養機能研究 乳製品・乳原料などの豊富な製造ノウハウ 独自の容器包装開発 	<ul style="list-style-type: none"> 食に対する新たなニーズの研究と対応 研究開発を担う人材の充実 「知」の共有・融合による研究領域の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> プラントベースフードなど、新たな研究テーマへの注力 研究開発を担う人材の確保・育成 知的財産の活用 オープンイノベーションの活用
5 おいしさや高品質を追求する技術力	<ul style="list-style-type: none"> 徹底的にこだわる生産品質 商品の風味などを検査する「官能評価員」の育成制度 	<ul style="list-style-type: none"> 生産品質の維持・向上 生産性改革のための技術の確立 (DXを含む) 生産系人材の確保 環境負荷の低減 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な生産設備への投資 生産プロセスの効率化 生産系人材の育成・採用強化 省エネルギー化、CO₂排出量削減効果のある設備・生産プロセスの導入

DX推進

雪印メグミルクグループDXビジョン

- 自ら課題を発見し解決・改善につなぐサイクルを高速化することで、経営意思決定の高度化、イノベーションの実現を図る
- 一人ひとりが高いデジタルリテラシーを獲得する

個別施策 (2024年度)

- 対話型AI「YuMe*ChatAI」を全従業員向けに導入
- 全社員を対象としたDX人材育成プログラムの導入

デジタル技術やデータを活用し組織風土や業務、事業を変革し、重要課題(マテリアリティ)の取組みを加速、私たちの目指す姿(存在意義・志)を実現